様式第３号

歯科技工士業務従事者届

（令和８年12月31日現在）

<table>
<tr><td>ふりがな
氏名</td><td colspan="2"></td><td>（旧姓）</td><td>性別</td><td>男
女</td><td>年齢</td><td colspan="3">歳</td></tr>
<tr><td>住所</td><td colspan="8">〒
都道
府県
ＴＥＬ（　　）　　－</td></tr>
<tr><td rowspan="2">歯科技工士名簿登録</td><td>登録番号</td><td colspan="7">第　　号</td></tr>
<tr><td>登録年月日</td><td colspan="7">１:令和
２:平成
３:昭和　　年　　月　　日</td></tr>
<tr><td rowspan="3">業務に従事する場所</td><td colspan="8">１　歯科技工所（歯科技工所番号：　　）
２　病院又は診療所
３　歯科技工士学校又は養成所
４　事業所
５　その他</td></tr>
<tr><td>所在地</td><td colspan="7">〒
ＴＥＬ（　　）　　－</td></tr>
<tr><td>名　称</td><td colspan="7"></td></tr>
<tr><td>備考</td><td colspan="8"></td></tr>
</table>

注　意

1　該当する数字を○で囲むこと。

2　氏名については、旧姓の併記も可とする。

3　登録年月日は、最初に登録された日であり、免許書書換交付等の日ではない。

4　「業務に従事する場所」の欄は、２以上の場所において業務に従事している場合は、その主たる一つについて記載すること。

5　「業務に従事する場所」の欄において、「歯科技工所」を選んだ者は、その所属する歯科技工所の歯科技工所番号を記載すること。

6　所在地は、本社や母体となる組織の所在地ではなく、実際に業務を行う場所の住所を記載すること。

7　名称は各種法令の規定により届けられた名称を使用すること。

8　**昭和57年３月31日までに免許を取得した者は、同日現在(S57.3.31)いずれの都道府県の歯科技工士籍に登録されていたかを備考欄に明記すること。**

9　**令和９年１月15日までに、就業地**を管轄する保健所へ提出すること。

10　裏面の記載例を参照すること。

様式第３号

歯科技工士業務従事者届（記載例）

（令和８年12月31日現在）

ふりがな 氏名	ひょうご　たろう 兵　庫　太　郎	（旧姓） ※旧姓併記可	性別	㊚ 女	年齢	５０歳
住所	〒６７０－０００８ 兵庫　都道府県　○○市　○○町2丁目1番22号 ＴＥＬ（　078　）　922　－　2000					

歯科技工士名簿登録	登録番号	第	0	1	2	3	4	5	号		
	登録年月日	1：令和 ②：平成 3：昭和	1	6	年		4	月	2	5	日

業務に従事する場所	① 歯科技工所（歯科技工所番号：　○○○○○　）	
	２　病院又は診療所	
	３　歯科技工士学校又は養成所	
	４　事業所	
	５　その他	
	所在地	〒６５０－００１１ 神戸市中央区下山手通５丁目１０番１号 ＴＥＬ（　０７８　）３４１－７７１１
	名　称	兵　庫　技　工　所
備考	兵　庫　県　（※　注意の８参照）	

注　意

１　該当する不動文字又は数字を○で囲むこと。

２　**氏名については、旧姓の併記も可とする。**

３　登録年月日は、最初に登録された日であり、免許書書換交付等の日ではない。

４　「業務に従事する場所」の欄は、２以上の場所において業務に従事している場合は、その主たる一つについて記載すること。

５　「業務に従事する場所」の欄において、「歯科技工所」を選んだ者は、その所属する歯科技工所の歯科技工所番号を記載すること。

６　所在地は、本社や母体となる組織の所在地ではなく、実際に業務を行う場所の住所を記載すること。

７　名称は各種法令の規定により届け出られた名称を使用すること。

８　**昭和 57 年３月 31 日までに免許を取得した者は、同日現在(S57.3.31)いずれの都道府県の歯科技工士籍に登録されていたかを備考欄に明記すること。**

９　**令和９年１月 15日までに、就業地**を管轄する保健所へ提出すること。

10　裏面の記載例を参照すること。